

東海地方と伊豆半島西海岸の上下変動から推定されるプレートの挙動

Plate behavior deduced from comparison between vertical movements of Tokai and Izu.

石井 紘 [1]

Hiroshi Ishii [1]

[1] 東大 地震研

[1] ERI U.of Tokyo

東海地方と伊豆半島西海岸の上下変動を地理院の水準測量のデータを用いて比較解析した。その結果2地域とも沈降しておりその速度はほぼ同じで年約5mmであることがわかった。また、沈降の変化は類似しており伊豆半島西海岸の方が1-2年先行しているように見える。これは東海地震の予知研究の観点からも重要である。このようなことはプレートのカップリングによるというのが一つの考えであり、考察してみた結果を発表する。

東海地方においては1976年からは1年ごとに水準測量が地理院によって行われている。また、伊豆半島においては西海岸は約2年ごとであるが、ほかは1年ごとに行われている。東海地方と伊豆半島西海岸は駿河トラフを境に相対しており、プレートの沈み込みと密接に関連していると考えられる。このことを考慮して2地域の上下変動について比較解析を行った。その結果2地域とも沈降しておりその速度はほぼ同じで年約5mmであることがわかった。また、沈降の変化は類似しており伊豆半島西海岸の方が1-2年先行しているように見える。これは東海地震の予知研究の観点からも重要である。このようなことはプレートのカップリングによるというのが一つの考えであり、考察してみた結果を発表する。